

水辺のプロムナード周辺の主な地域資源と被災状況

津波・地震により沿岸・河川沿いの地域資源が流失、損傷しているため、プロムナード計画におけるルートや拠点設定を見直す必要がある。



個々のルート及び拠点の再検討



ルート①『雲雀野海岸・日和大橋』における課題

ルートテーマ 「ルート①:雲雀野海岸・日和大橋」

海辺の憩いそして心地よい汗を誘う

「潮風ルート」

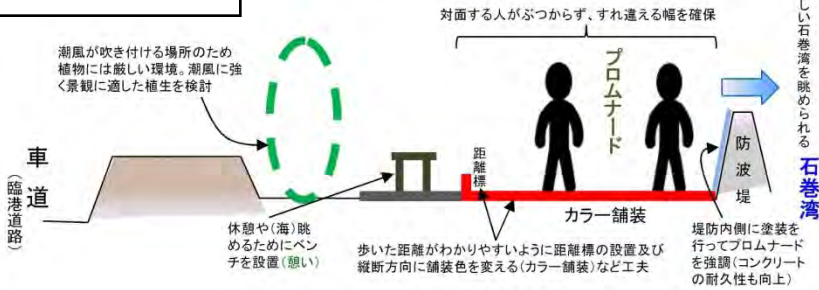
現計画におけるルートの方向性

- ・海辺を快適に潮風を身体に受けながら散歩できるプロムナード（波の音を聞きながらウォーキングやジョギング、散歩）
- ・ジョギングなど運動での利用を考慮した工夫（→カラー舗装や距離標）
- ・途中休憩し、海辺の景色を眺められるよう配慮（→ベンチの設置）
- ・植生については潮風に強く、周辺環境と調和するものを検討

現計画案

ルートイメージ

雲雀野海岸プロムナードのイメージ例



■プロムナード計画の方向性と主な課題

- ・海岸沿いのルートに加えて、公園ゾーン内の回遊ルート及び港との繋がりも含めてルート設定を検討する。
- ・「海岸の歴史探訪ポイント」となる雲雀野海岸沿いの史跡は、津波により大半が損壊している。

復興計画と当初計画のルート・拠点位置



復興計画のイメージとプロムナードの留意点

海岸防潮堤T.P.+7.2mで整備

海辺の眺めを楽しむ場所(休憩施設)の確保をどうするか？

公園ゾーンから海辺までのアクセスをどうするか？



※堤防断面はイメージであり確定したものではありません

拠点A『石巻港臨港緑地』における課題

拠点テーマ 「拠点A:石巻港臨港緑地」

潮風と太陽を浴びながら運動やイベントを楽しむ
「いしのまき港公園」

現計画における拠点の方向性

- 約10.2haもの広大な敷地を活用して、大人数を集めるイベントの開催や運動などのレクリエーションを推進（現在は埋立していないので敷地は無い）
- また、家族で気持ちいい休日を過ごせることにも配慮（広い芝生）
- 運動での利活用を目指す雲雀野海岸のプロムナードと連携したイベントの実施

現計画案

拠点イメージ

- 臨港緑地は365日の利活用(港振興)そしてプロムナードとの連携による拠点機能を兼ねる。
- 強い風を防御し、かつ緑地のシンボル(観光も視野)として、南側に築山を設置。また沿岸には松など潮風に強い樹木を植樹検討。
- 雲雀野海岸プロムナードから緑地南端の展望台まで、プロムナードを配置
- 緑地はイベント広場として活用し、そしてちびっこも楽しめる施設を配置(石巻らしい臨港緑地)。

臨港緑地施設の利活用(イメージ)



風除けのための築山と樹木は緑地のシンボルのほか観光としても活用

臨港緑地イメージ図

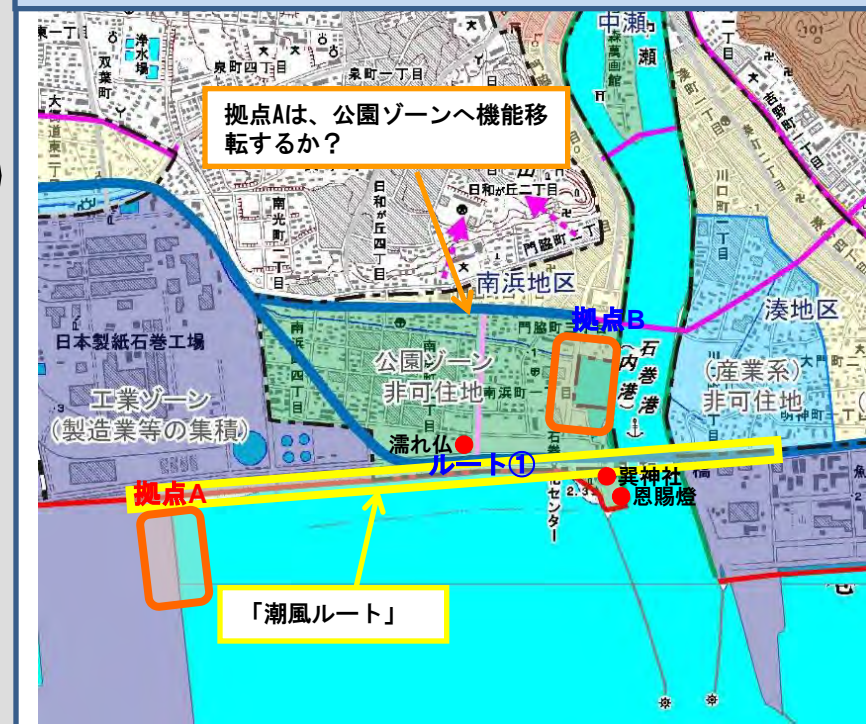


※当配置図はあくまでもイメージあり。臨港緑地の埋立等が本格化する中で、具体的な施設配置等を検討・設計

■プロムナード計画の方向性と主な課題

- 「拠点A：石巻港臨港緑地」は復興計画では防潮堤の外側となり、安全確保の観点から見直しが必要
- 復興計画で公園ゾーンが新設されたため、拠点Aの機能移転を検討

復興計画と拠点Aの課題



ルート②『旧北上川右岸下流』における課題

ルートテーマ 「ルート②:旧北上川右岸下流」

いにしへの石巻湊と昭和の賑わいを訪ねる
「旧北上川と石巻湊ルート」

現計画におけるルートの方向性

- ・安全に快適に水辺を緑を感じながら散策できるプロムナード
- ・水辺そばの道路は現在のまま通れるようにする（門脇の幹線路）
- ・プロムナードから各ポイントに行き易いように工夫（階段やスロープ）
- ・途中休憩し、水辺の景色を眺められるように配慮

現計画案

ルートイメージ



復興計画とルートの課題



■プロムナード計画の方向性と主な課題

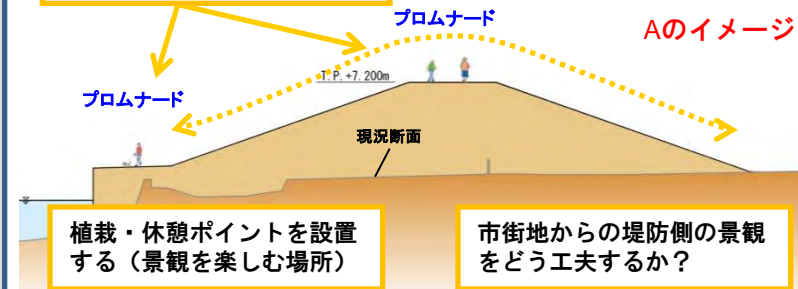
- ・ルートの方向性は現計画と同じ
- ・河口に近づくほど、より大きな堤防が新設されることにより、堤防や水辺に近づきやすくするための坂路、階段等の工夫が必要
- ・堤防の新設による旧北上川の景観の変化、修景等の検討

復興計画のイメージとプロムナードの留意点

イメージ①:T.P.+7.2mで整備する区間

安全の確保をどうするか？

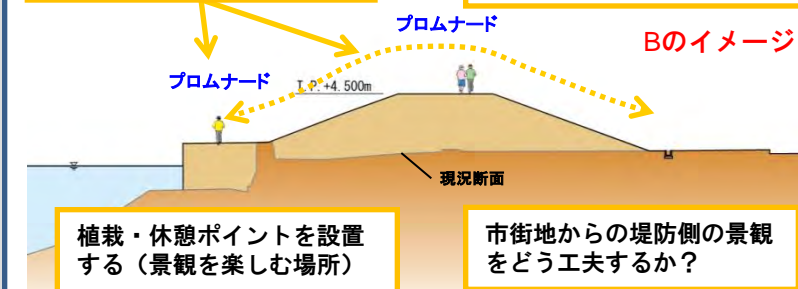
堤防や水辺へ近づきやすい坂路や階段を整備する



イメージ②:T.P.+4.5mで整備する区間

安全の確保をどうするか？

堤防や水辺へ近づきやすい坂路や階段を整備する



※堤防断面はイメージであり確定したものではありません

拠点B『文化センターと離島航路待合所』における課題

拠点テーマ 「拠点B:文化センターと離島航路待合所」

離島航路を眺め、さざなみの1/f波のくつろぎ

「水辺の癒し空間」

現計画における拠点の方向性

- ・網地島ラインの待合所と石巻文化センターの2施設を拠点
- ・プロムナード散策の出発や目的地として利用、文化センターは歴史探訪の幅広い知識を得る散策メニューとしての活用を期待
- ・水辺近くの市立病院とのプロムナードの連携（1/f波の音→癒やし）

現計画案

拠点イメージ

田代島や網地島への離島航路の発着所

- ・離島航路の発着所として新たに整備を進めている待合所と既に多くの方が利用している石巻文化センターの2施設を拠点（⇒新たな整備は無し）。
- ・文化センターでは、既に多くの方が施設利用として利活用が進んでおり、プロムナード拠点としてさらに多くの利活用を期待（特に常設展示など）
- ・内港のゆったりとした水（川）の動きと時より聞こえる波の音が癒いを演出。



網地島や田代島へ定期航路の発着所（写真はマーメイド号）



新たに網地島や田代島への定期船が発着する浮桟橋（案にて整備）



待合所の完成予想図 ※平成23年春にオープン予定

石巻の歴史を学び、休憩もできる石巻文化センター

▼石巻文化センター外観



▼センター内の常設展示



石巻地方の歴史・古代から近代までを、各時代の特徴あるテーマで構成し、郷土の歴史を伝えることができます。特に「発掘石巻の歴史」のコーナーでは、バザイク船（千石船）の一部を美術大で復元しており、その構造などを 見る ことができます。



センター内にある交流広場

センター内ではベンチシートがあり、休憩やトイレを利用可能



■プロムナード計画の方向性と主な課題

- ・利活用予定であった文化センター・市立病院が被災し、移転・取り壊しの予定
- ・新たな公園ゾーンと一体となった、離島航路待合所を中心とした拠点整備・利活用方策について見直しが必要

復興計画と拠点Bの課題

